

北伊予自由通路(高架橋) 事業経過

平成26年8月18日現在

- 18年3月30日 **松前町から県へ北伊予駅西口要望書提出**
- 24年3月 北伊予駅西口歩道橋(設計費) (500万円)
- 24年6月8日 **事業主体が県から松前町に** (議会に報告なし)
- 25年6月議会 北伊予自由通路(詳細設計費) 議会上程 (2,200万円)
- 25年7月5日 JR四国宛て**(松前町が全額費用負担で自由通路を作る要望書提出)** (議会に報告なし)
- 25年7月24日 JR四国より町長宛て**(維持補修含め全額町負担であれば)** 基本了承する (議会に報告なし)
- 25年9月17日 産業建設常任委員会で詳細説明不足のため道路認定否決 (継続審議とした)
- 25年9月25日 本議会最終日 委員長継続審議報告の後、本会議で異例の可決 (町道認定)
(この時の自由通路の総額費用は1.5億円と説明)
(経過説明 議事録など書類関係は所在不明のため説明提示できない答弁)
- 26年3月31日 JR四国にて詳細設計完了 (議会に報告なし)
- 26年5月22日 JR四国からFAXで**3.5億円**の見積書提示**(理事者公式見積書と答弁)**
- 26年6月議会 全員協議会にて北伊予駅自由通路の説明あり 総額費用が**4.04億**の説明 (質疑応答・詳細説明なし わからない・資料がない・議事録ないと答弁)
- 26年6月18日 JR四国高松本社へ議員6名で出向き事情説明後質疑応答 (記録あり)
(事業費の総金額は算出中。松前町へ提示はしていないとの答弁)
- 26年6月19日 県庁土木部へ議員6名で出向き事情説明後質疑応答 (記録あり)
(県の事業対象にはならないが町が主体とするには構わない) (記録あり)
- 26年7月23日 議会本会議で北伊予駅自由通路調査特別委員会設置
- 26年8月1・4・8日 調査特別委員会実施 不明な点も有り引き続き調査中

委員コメント

● 稲田 孔 委員
JR北伊予駅の高架橋は県事業なのに町事業で4.04億円に膨れ、費用対効果はどれだけのものか、しっかり調査が必要だ。

● 稲田 輝宏 委員
9人の区長と老人会長、両方のPTA会長が連名の要望書が出ている。校区の総意と受けとめるべきだ。

● 加藤 博徳 委員
議会が何のために、誰のためにあるのか、問われる事案だ。自分自身でしっかり検証し判断したい。

● 寺下 武 委員
今回の事業は、今後もJR、県と協議を行って頂きたい。また議会側も情報を発信、吸収し結論を導くべく努力する。

● 八束 正 委員
地域の思いを真摯に受け止め、JR北伊予駅自由通路について最良の決断をしたい。

● 藤岡 緑 委員
東西を結ぶこの陸橋が地域活性化につながり、後に「作ってよかった、高架橋」となることを願います。

● 村井 慶太郎 委員
1億5千万円の予算が、議会毎に金額が4回の変更、6月議会では4億4千万円となった。案件は納得できませ

● 早瀬 武臣 委員
コメントしない。

● 松本 一二美 委員
西からのJR進入路は長年の地元要望。東西を結ぶ陸橋道は地域発展にも好影響。国の支援可能な好機に実施を!

● 澤田 登代一 委員
一人でも多くの人が、少しでも理解し納得ができる、施設にしたい。

● 岡井 慶一郎 委員
JR北伊予駅自由通路及び周辺整備は実施すること大いに賛成する。駅周辺の発展促進に必要な施設である。

● 伊賀 上明治 委員
なし。

● 三好 勝利 委員
議会として真実を追求していきたい。

● 木下 淳 委員
県が最小限の整備費用で計画していたが、町と地元委員会の意向で変更となった経緯を調査すべきである。